# 令和7年7月10日 附属図書館長 轟木堅一郎

# 研究成果のオープンアクセス(OA)公開のお願いと登録方法

近年、学術論文などの研究成果をインターネット上で誰もが無料で閲覧できる「オープンアク セス(OA)化」の動きが世界的に加速しています。これにより、皆様の研究成果がより多くの人 に届き、学術振興や社会貢献に繋がることが期待されています。また、本年度から採択された 科研費などの公的研究費については、その成果論文等を即時 OA 化することが義務づけられ ています。

本学では皆様の研究成果を広く公開するため、静岡県立大学学術機関リポジトリのご活用を 推奨しております。つきましては下記をご確認の上、研究成果のご登録にご協力をお願いいた します。

> 静岡県立大学学術機関リポジトリ登録・公開申請フォーム(論文用) <u>https://req.qubo.jp/u shizuoka/form/repository</u>

#### 1. 登録できるコンテンツの種類

本学の機関リポジトリには、以下の条件を満たす様々な研究成果を登録できます。

- 本学の教職員または学生が主要な部分を作成したもの
- 知的財産権や公開について問題が生じないもの

具体的な例としては、以下のようなものが挙げられます。

- 学術雑誌掲載論文(査読付き論文)
- 会議発表論文
- 紀要論文
- 研究報告書
- 学位論文(博士論文、修士論文など)
- 著書の一部または全体
- 2. 著作権について

研究成果を機関リポジトリで公開するには、著作権者(著者、出版社など)からの許諾が必要 です。

- 著作権はリポジトリ登録後も移動しません。
- 出版社に著作権を譲渡している場合でも、多くの場合は機関リポジトリでの公開が可能です。ただし、出版社や雑誌によって公開できる条件(公開できる原稿のバージョン、公

開までの期間など)が異なりますので、事前の確認が必要です。 【重要】著作権ポリシーの確認方法

論文を掲載した雑誌や出版社のウェブサイトで、著作権ポリシー(リポジトリ登録の可否、 公開可能な原稿のバージョン、公開禁止期間など)をご確認ください。 ご自身で調べるのが難しい場合は、以下のデータベースも参考になります。

海外の出版社向け:

Open policy finder: <u>https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/</u>

Sherpa Romeo: <u>https://www.sherpa.ac.uk/romeo/</u>

 日本の学協会向け:
 日本の学協会の著作権ポリシー確認ツール: <u>https://app.lib.shimane-</u> u.ac.jp/policy checker/scpj.php

※上記のデータベースは参考情報です。最終的には必ず出版社・雑誌の公式サイトで最新 の情報をご確認ください。

### 【公開可能な原稿のバージョンについて】

多くの出版社で機関リポジトリでの公開が認められているのは、以下のいずれかのバージョ ンです。

- 著者最終稿: 査読を経て修正が完了し、出版社の最終的な組版前の原稿です。
- 出版社版: 出版社が作成した最終的な組版済みの PDF ファイルです。<u>外国雑誌論文の</u> 場合、出版社版の公開が不可の場合が多いためご注意ください。

### 3. 研究成果登録のフロー

以下のステップで登録できます。 当面は「科研費報告書」に掲載する 2023 年以降の成果の登録に限らせていただきます。

- 1. 公開したい成果論文などを準備
  - 論文の PDF ファイルなど(Supplemental Data などの根拠データもあればご準備ください)
  - 出版社・雑誌の著作権ポリシーを確認し、公開が認められているバージョンの原稿 をご準備ください。
  - 共著者がいる場合は、事前に公開の同意を得てください。
- 2. オンライン申請フォームにアクセス

静岡県立大学学術機関リポジトリ登録・公開申請フォーム(論文用)
URL: <a href="https://req.qubo.jp/u\_shizuoka/form/repository">https://req.qubo.jp/u\_shizuoka/form/repository</a>
※フォームタイトルは「論文用」ですが、会議発表論文、紀要、研究報告書、学位論文、図書などもこのフォームで申請できます。

- 3. フォームに必要事項を入力し、原稿をアップロード
  - 入力項目に沿って、書誌情報(タイトル、著者名、雑誌名、巻号、ページ、発行年など)
     を入力してください。
  - 準備した成果論文などのファイルをアップロードしてください(各ファイル 5 MB、5 個まで、容量を超える場合は分割対応や、メールにてご相談ください)。
  - 論文根拠データなどのリポジトリへの公開は後日、別フォームにて申請できるよう準備中です。
  - PDF 以外の形式での公開を希望される場合は、別途ご相談ください。
- 4. 図書館での確認・処理
  - ご提出いただいた申請内容と原稿を、図書館で確認いたします。
  - 著作権ポリシーに問題がないか、メタデータ(書誌情報)に不備がないかなどを確認し、必要に応じてご連絡させていただく場合があります。
- 5. 機関リポジトリでの公開

確認が完了次第、機関リポジトリに研究成果が公開されます。

お問い合わせ先

フォームでの入力が難しい場合や、ご不明な点がございましたら、メール(<u>repository-</u> <u>reg@u-shizuoka-ken.ac.jp</u>)にてお問い合わせください。

### 静岡県立大学学術機関リポジトリ登録・公開申請フォーム(論文用)

お名前 参領	
メールアドレス あま	▼確認のため、再度メールアドレスの入力をお願いします。
所語 <b>必</b> 案	<ul> <li>菜学部/菜学研究院</li> <li>食品栄養科学部/食品栄養環境化学研究院</li> <li>国際関係学部/国際関係学研究科</li> <li>経営情報学部/経営情報イノベーション研究科</li> <li>看護学部/看護学研究科</li> <li>短期大学部</li> <li>その他</li> </ul>
<b>職名</b>	<ul> <li>教授</li> <li>准教授</li> <li>環師</li> <li>助教</li> <li>特任教授</li> <li>特任推教授</li> <li>特任講師</li> <li>特任助教</li> <li>その他</li> </ul>
登録資料 <b>必須</b>	<ul> <li>雑誌論文</li> <li>会議発表論文</li> <li>紀要</li> <li>研究報告書</li> <li>学位編文</li> <li>図書</li> <li>その他</li> </ul>
論文名 参寫	
論文のDOI(Digital Object Id entifier)	論文にD0Iが付与されていれば記載してください。
掲載誌(書)名 必須	
충득	
開始・終了ページ	1-8などのように記載
出版年月日	• 年 • 月 • 日
査読の有無  る策	○ 有 ○ 無

ファイルの登録 参寮	○ する ○ しない(タイトル、掲載誌、DOI等の論文に関する情報のみ登録・公開する)
共著·単著 参纂	<ul> <li>○ 単著</li> <li>○ 共著</li> </ul>
著作権者 参飨	<ul> <li>申請者本人のみ</li> <li>執筆者全員</li> <li>学協会・出版社に譲渡</li> <li>不明</li> </ul>
機関リボジトリ登録への同意 執筆者全員の同意 (共著の場 合)	○権認済
提供データ	<ul> <li>○ 著者版</li> <li>○ 出版社版</li> </ul>
公開可能年月日	○ 即時 ○ 時期指定(2025年9月24日のように西暦で記載)
論文ファイルを添付してくださ い(5 MBを超える場合は分割し てアップロードしてください)	<b>ファイルを選択</b> 選択されていません SMBまで
論文ファイル2(論文ファイルや Supplementalなど)	<b>ファイルを選択</b> 選択されていません SMBまで
論文ファイル3(論文ファイルや Supplementalなど)	<b>ファイルを選択</b> 選択されていません SMBまで
論文ファイル4(論文ファイルや Supplementalなど)	<b>ファイルを選択</b> 選択されていません SMBまで
論文ファイル5(論文ファイルや Supplementalなど)	<b>ファイルを選択</b> 選択されていません SMBまで
その他の特記事項	不明な点や、公開の際に留意すべき事項など

<<上記の学術研究成果について「静岡県立大学学術機関リポジトリ運用指針」に基づき、静岡県立大学学術機関リポジトリに登録し、無償公開する ことを申請します。掲載に必要な共著者等の許諾の取得、論文のチェック等は申請者本人の責任で行います。>>

必须

以上の内容に同意する

